



# Denka 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4061 URL http://www.denka.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 学  
 問合せ先責任者 (役職名)IR室長 (氏名)大町 徹夫 (TEL)03-5290-5532  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	187,843	9.3	14,310	45.6	15,450	108.0	12,275	100.8
29年3月期第2四半期	171,806	△5.9	9,825	△32.8	7,426	△45.1	6,114	△38.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期13,537百万円(1,251.8%) 29年3月期第2四半期1,001百万円(△88.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	138.96	—
29年3月期第2四半期	69.10	—

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
30年3月期第2四半期	470,133	234,787	49.2	2,638.21
29年3月期	454,944	227,487	49.1	2,526.42

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期231,215百万円 29年3月期223,565百万円

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の期末配当金は10円となり、1株当たり年間配当金は20円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	10.3	32,000	23.8	31,000	33.9	22,000	21.2	250.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	88,555,840株	29年3月期	93,190,824株
30年3月期2Q	914,626株	29年3月期	4,699,722株
30年3月期2Q	88,342,207株	29年3月期2Q	88,495,636株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※期末自己株式及び期中平均株式数には、株式給付信託が保有する当社株式を含めています。

## ※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は平成29年6月22日開催の第158回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、当社普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 第2四半期末 10円00銭(注1) 期末 10円00銭(注2)

2. 平成30年3月期の通期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 期末 50円00銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(注2) 株式併合を考慮しない場合の配当額です。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は20円00銭となります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
3. 補足情報 .....	13
平成30年3月期 第2四半期決算概要 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費や輸出、生産が持ち直すなど、景気は緩やかに回復しました。世界経済は、全体として緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループは、国内外での拡販やコストの削減に努め、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、クロロプレンゴムや電子・先端プロダクツ製品を中心に販売数量が増加したほか、原材料価格の上昇に応じた販売価格の改定により、売上高は1,878億43百万円と前年同期に比べ160億36百万円(9.3%)の増収となりました。収益面では、ヘルスケア分野などで将来に向けた先行投資による費用負担が増加しましたが、販売数量の増加や交易条件の改善が収益拡大に寄与し、営業利益は143億10百万円(前年同期比44億84百万円増、45.6%増益)となりました。また、経常利益は154億50百万円(前年同期比80億23百万円増、108.0%増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は122億75百万円(前年同期比61億61百万円増、100.8%増益)とそれぞれ第2四半期連結累計期間として過去最高益となりました。

報告セグメント別の状況は次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間に報告セグメントの区分を変更しており、詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりです。

#### <エラストマー・機能樹脂部門>

当部門の売上高は857億34百万円と前年同期に比べ134億92百万円(18.7%)の増収となりました。

クロロプレンゴムは販売数量増や採算是正を目的とした販売価格改定により増収となりました。スチレンモノマーやABS樹脂、デンカシンガポール社のポリスチレン樹脂等の販売も堅調に推移しました。

#### <インフラ・ソーシャルソリューション部門>

当部門の売上高は259億75百万円と前年同期に比べ13億76百万円(5.6%)の増収となりました。

農業土木用コルゲート管やセメントは販売数量が増加し増収となり、特殊混和材や肥料、耐火物・鉄鋼用材料の販売も堅調に推移しました。

#### <電子・先端プロダクツ部門>

当部門の売上高は264億24百万円と前年同期に比べ35億43百万円(15.5%)の増収となりました。

LED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”や電子部品・半導体搬送用部材の機能フィルムは旺盛な需要により出荷増となり、半導体封止材向け球状溶融シリカフィラーや球状アルミナの販売も増加しました。また、電子回路基板の販売も前年を上回りました。

#### <生活・環境プロダクツ部門>

当部門の売上高は204億31百万円と前年同期に比べ2億32百万円(1.1%)の減収となりました。

プラスチック雨どいや工業用テープは販売数量が増加し増収となり、食品包材用シートやデンカポリマー株式会社の加工品も堅調に推移しましたが、合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売は前年を下回りました。

#### <ライフイノベーション部門>

当部門の売上高は119億82百万円と前年同期に比べ6億79百万円(5.4%)の減収となりました。

デンカ生研株式会社の試薬は国内、輸出とも販売数量が増加し増収となりましたが、インフルエンザワクチンの出荷は前年を下回りました。

#### <その他部門>

当部門の売上高は172億94百万円と前年同期に比べ14億64百万円(7.8%)の減収となりました。

株式会社アクロス商事等の商社は取扱量が前年を下回りました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ151億89百万円増加の4,701億33百万円となりました。流動資産は、売上債権の増加などにより前連結会計年度末に比べ108億80百万円増加の1,797億82百万円となりました。固定資産は、連結子会社Icon Genetics GmbHの完全子会社化に伴うのれんの増加などにより前連結会計年度末に比べ43億8百万円増加の2,903億50百万円となりました。負債は、運転資金の増加に伴う有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べ78億89百万円増加の2,353億46百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ72億99百万円増加して2,347億87百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の49.1%から49.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(業績予想の修正)

最近の業績動向を踏まえ、平成29年8月7日に公表いたしました平成30年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたします。

平成30年3月期 通期連結業績予想 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	400,000	30,000	28,000	21,000	238.89
今回修正予想 (B)	400,000	32,000	31,000	22,000	250.02
増減額 (B-A)	—	2,000	3,000	1,000	—
増減率 (%)	—	6.7%	10.7%	4.8%	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成29年3月期)	362,647	25,844	23,158	18,145	205.05

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。このため、1株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、算定しております。

## 修正の理由

クロロプレンゴムや電子先端製品の販売数量増加、交易条件の改善等により前回公表の業績予想を上回る見通しです。

## (配当予想の修正)

平成29年8月7日に公表いたしました平成30年3月期の期末配当予想を下記の通り修正いたします。

平成30年3月期 配当予想 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (株式併合後換算)	7円00銭 (35円00銭)	7円50銭 (37円50銭)	14円50銭 (72円50銭)
今回修正予想 (株式併合後換算)		10円00銭 (50円00銭)	20円00銭 (100円00銭)
当期実績 (株式併合後換算)	10円00銭 (50円00銭)		
前期実績 (平成29年3月期) (株式併合後換算)	7円00銭 (35円00銭)	7円00銭 (35円00銭)	14円00銭 (70円00銭)

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。年間配当金や前期との比較を分かり易くするため、上段には株式併合前の金額を、下段の括弧内には当該株式併合後の数値に換算した金額を、それぞれ記載しております。

## 修正の理由

上記業績予想の増益修正を踏まえ、また、新経営計画「Denka Value-Up」の株主還元方針※に沿って、中間配当を前回予想の1株当たり7円から3円増配して10円とし、期末配当予想につきましても、前回予想の1株当たり37円50銭から12円50銭増配して50円に引き上げることといたします。

この結果、株式併合考慮後の1株当たりの年間配当金は、前回予想に比べ27円50銭増配の100円となる予定です。なお、予想配当性向(連結)は、前回予想の30.3%から40.0%になります。

## ※ 新経営計画「Denka Value-Up」の株主還元方針

- ・「総還元性向50%を基準」を継続する。 ※総還元性向 = (配当 + 自己株式取得) ÷ 連結当期純利益
- ・還元方法については配当を重視し、株価推移などに応じ機動的な自己株式取得も実施する。

## 【参考】1株当たり配当金の推移

	平成26年 3月期実績	平成27年 3月期実績	平成28年 3月期実績	平成29年 3月期実績	平成30年 3月期予想
中間配当金	5.00円	5.00円	6.00円	7.00円	10.00円
期末配当金	5.00円	7.50円	7.00円	7.00円	10.00円
年間配当金 (株式併合後換算)	10.00円 (50.00円)	12.50円 (62.50円)	13.00円 (65.00円)	14.00円 (70.00円)	20.00円 (100.00円)

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,258	12,232
受取手形及び売掛金	85,069	89,858
商品及び製品	42,532	46,274
仕掛品	3,745	3,840
原材料及び貯蔵品	16,907	17,920
繰延税金資産	2,039	2,161
その他	8,809	7,961
貸倒引当金	△460	△467
流動資産合計	168,902	179,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,982	61,733
機械装置及び運搬具（純額）	74,338	68,963
工具、器具及び備品（純額）	2,895	3,122
土地	63,247	63,318
リース資産（純額）	312	259
建設仮勘定	10,679	13,249
有形固定資産合計	213,456	210,646
無形固定資産		
のれん	5,694	9,140
特許権	487	422
ソフトウェア	1,170	1,022
その他	2,989	3,086
無形固定資産合計	10,342	13,670
投資その他の資産		
投資有価証券	54,604	58,488
長期貸付金	664	614
繰延税金資産	1,608	1,885
その他	6,189	5,856
貸倒引当金	△823	△812
投資その他の資産合計	62,242	66,032
固定資産合計	286,041	290,350
資産合計	454,944	470,133

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,811	50,223
短期借入金	43,492	41,809
コマーシャル・ペーパー	—	12,000
1年内返済予定の長期借入金	72	72
1年内償還予定の社債	10,000	15,000
未払法人税等	3,659	3,369
未払消費税等	814	1,106
繰延税金負債	0	7
賞与引当金	2,880	3,019
その他	36,459	32,943
流動負債合計	144,190	159,551
固定負債		
社債	20,000	12,000
長期借入金	40,184	40,133
繰延税金負債	5,895	7,250
再評価に係る繰延税金負債	8,405	8,403
退職給付に係る負債	7,774	7,089
その他	1,006	917
固定負債合計	83,266	75,794
負債合計	227,456	235,346
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,284	49,284
利益剰余金	123,752	122,914
自己株式	△10,170	△3,165
株主資本合計	199,865	206,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,837	17,373
繰延ヘッジ損益	—	△162
土地再評価差額金	10,265	10,260
為替換算調整勘定	1,496	368
退職給付に係る調整累計額	△2,898	△2,654
その他の包括利益累計額合計	23,700	25,184
非支配株主持分	3,922	3,571
純資産合計	227,487	234,787
負債純資産合計	454,944	470,133



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	171,806	187,843
売上原価	130,663	140,714
売上総利益	41,143	47,129
販売費及び一般管理費	31,317	32,819
営業利益	9,825	14,310
営業外収益		
受取利息	34	32
受取配当金	759	995
持分法による投資利益	555	1,101
為替差益	—	569
その他	166	167
営業外収益合計	1,515	2,866
営業外費用		
支払利息	356	351
固定資産処分損	225	273
操業休止等経費	874	515
為替差損	1,841	—
その他	615	586
営業外費用合計	3,913	1,726
経常利益	7,426	15,450
特別利益		
投資有価証券売却益	643	—
特別利益合計	643	—
特別損失		
固定資産除却損	885	—
特別損失合計	885	—
税金等調整前四半期純利益	7,185	15,450
法人税、住民税及び事業税	1,107	3,397
四半期純利益	6,077	12,052
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△37	△223
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,114	12,275

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	6,077	12,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	522	2,520
為替換算調整勘定	△5,786	△1,185
退職給付に係る調整額	184	244
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△94
その他の包括利益合計	△5,075	1,484
四半期包括利益	1,001	13,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,418	13,765
非支配株主に係る四半期包括利益	△416	△227

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,185	15,450
減価償却費	11,914	11,901
のれん償却額	161	475
賞与引当金の増減額(△は減少)	274	140
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△424	△333
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26	△4
受取利息及び受取配当金	△793	△1,028
支払利息	356	351
持分法による投資損益(△は益)	△555	△1,101
投資有価証券売却損益(△は益)	△643	△1
固定資産除売却損益(△は益)	791	55
売上債権の増減額(△は増加)	△2,209	△5,107
たな卸資産の増減額(△は増加)	△722	△5,299
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,539	2,646
その他	510	2,245
小計	13,332	20,390
利息及び配当金の受取額	1,512	1,428
利息の支払額	△367	△331
法人税等の支払額	△2,689	△4,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,787	17,332
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,637	△12,690
無形固定資産の取得による支出	△111	△47
投資有価証券の取得による支出	△605	△12
投資有価証券の売却による収入	1,111	5
子会社株式の取得による支出	—	△4,167
その他	581	160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,662	△16,750
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,088	10,368
長期借入れによる収入	6,975	—
長期借入金の返済による支出	△8,250	△56
社債の発行による収入	—	7,000
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△2,190	△3,029
配当金の支払額	△3,131	△3,097
非支配株主への配当金の支払額	△57	△25
その他	△134	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,700	1,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	△449	23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,024	1,790
現金及び現金同等物の期首残高	11,813	10,174
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	434	250
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,223	12,214

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため、平成29年5月10日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において自己株式の取得及び消却を行っております。

(自己株式の取得)

当第2四半期連結累計期間において自己株式が30億29百万円増加しております。

(自己株式の消却)

平成29年5月15日に自己株式の消却を行い、当第2四半期連結累計期間において自己株式が100億33百万円、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が100億33百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・ソー シャルソ リユーシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	ライフイ ノベーション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	72,241	24,599	22,881	20,663	12,661	153,047	18,759	171,806	—	171,806
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	73	—	—	—	—	73	2,279	2,352	(2,352)	—
計	72,314	24,599	22,881	20,663	12,661	153,120	21,038	174,159	(2,352)	171,806
セグメント利益	3,366	158	3,296	918	1,795	9,535	217	9,752	72	9,825

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額72百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	102,406	45,782	23,617	69,399	171,806
連結売上高に占める割合 (%)	59.6	26.6	13.7	40.4	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・ソー シャルソ リユーシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	ライフイ ノベーション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	85,734	25,975	26,424	20,431	11,982	170,548	17,294	187,843	—	187,843
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	50	0	—	—	—	50	2,046	2,097	(2,097)	—
計	85,784	25,975	26,424	20,431	11,982	170,599	19,341	189,940	(2,097)	187,843
セグメント利益	7,234	719	4,698	753	641	14,047	278	14,326	(16)	14,310

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△16百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位:百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	105,212	54,435	28,195	82,630	187,843
連結売上高に占める割合 (%)	56.0	29.0	15.0	44.0	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の4区分に「ライフイノベーション」を加えた5区分の報告セグメントに変更しております。

平成29年4月1日付でデンカグループのすべての健康関連事業を統括する「ライフイノベーション部門」を新設したことに伴い、「ライフイノベーション」セグメントを新たに設け、従来「生活・環境プロダクツ」に区分していた健康関連事業を「ライフイノベーション」セグメントに移管しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 3. 補足情報

## 2017年度 第2四半期決算概要

2017年11月8日

デンカ株式会社

## 1. 業績の概要

## 【総括(第2四半期前年同期比)】

- ・当期第2四半期は、原材料価格上昇により石化製品のスプレッドは悪化しましたが、クロロプレンゴムや電子先端製品などの販売数量が増加したほか、原材料価格の上昇に応じた販売価格改定が、ヘルスケア分野などで将来に向けた先行投資による費用負担増加をカバーし、営業利益は143億円(前年比45.6%増)、経常利益155億円(前年比108.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は123億円(前年比100.8%増)と、いずれも前年を上回りました。
- ・第3四半期以降も、クロロプレンゴム、電子・先端製品の出荷好調が継続する見とおしであり、これらが前年を下回る予想のワクチン出荷や、先行投資の負担増を補うことにより、通期予想営業利益は、過去最高となった2015年度の306億円を上回る320億円に上方修正し、経常利益は310億円、当期純利益も220億円に修正しました。

## 【セグメント別状況(第2四半期前年同期比・通期見通し)】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、クロロプレンゴムの出荷増や採算是正を目的とした価格改定が、シンガポールスチレン系製品の原料価格上昇によるスプレッド縮小をカバーし、増益となりました。第3四半期以降もこの状況が続く見とおしです。
- ・インフラ・ソーシャルソリューション部門は、アルミナ繊維、農業・土木用コルゲート管、輸出セメントの出荷が好調であったことなどから、増益となりました。第3四半期以降も、増益を見込みます。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、半導体封止材向け溶融シリカや球状アルミナ、LED用蛍光体、電子部品・半導体搬送材料用部材の機能フィルム、電子回路基板、パワーモジュール用高信頼性放熱プレートの好調な出荷により、前年に比べ増益となりました。第3四半期以降でも、各製品の好調な出荷の継続により増益を見込みます。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、合繊かつら用原糸の販売は前年を下回りましたが、その他製品でカバーし、営業利益は前年並みとなりました。第3四半期以降は合繊かつら用原糸の需要回復により増益を見込みます。
- ・ライフイノベーション部門は、国内外の試薬販売数量の増加を見込みますが、インフルエンザワクチン製造株の選定遅れにより製造・販売が前年を下回ることや、研究開発費等の負担増から、通期で前年比減益を見込みます。

## 【業績予想の修正と中間配当および期末配当予想の修正(増配)】

- ・上記通期見通しを踏まえて、通期業績予想につきましては、売上高4,000億円(前回予想に同じ)、営業利益320億円(前回予想比20億円増益)、経常利益310億円(同30億円増益)、当期純利益220億円(同10億円増益)に修正しました。そして、この増益修正を踏まえ、中間配当を前回予想の1株当たり7円から3円増配して10円とし、期末配当予想につきましても、前回予想の1株当たり37円50銭から12円50銭増配して50円に引き上げることといたします。この結果、株式併合考慮後の1株当たりの年間配当金は、前回予想に比べ27円50銭増配の100円となる予定です。
- ※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しており、期末及び年間の配当額は当該株式併合後の数値に換算した金額となっております。
- なお、予想配当性向(連結)は、前回予想の30.3%から40.0%になります。

## 【業績】

(単位:億円)

	2017年度 第2四半期実績 (4-9月)	2016年度 第2四半期実績 (4-9月)	増 減	2017年度 通期予想 (4-3月)	2016年度 通期実績 (4-3月)
売上高	1,878	1,718	160	4,000	3,626
営業利益	143	98	45	320	258
経常利益	155	74	80	310	232
親会社株主に帰属する当期純利益	123	61	62	220	181

## 2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

	2017年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増 減	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績
エラストマー・機能樹脂	売上高 857 営業利益 72	722 34	135 39	1,750 135	1,517 78
インフラ・ソーシャルソリューション	売上高 260 営業利益 7	246 2	14 6	550 15	518 9
電子・先端プロダクツ	売上高 264 営業利益 47	229 33	35 14	560 95	463 71
生活・環境プロダクツ	売上高 204 営業利益 8	207 9	△ 2 △ 2	430 15	412 15
ライフイノベーション	売上高 120 営業利益 6	127 18	△ 7 △ 12	340 55	340 79
その他消去差	売上高 173 営業利益 3	188 3	△ 15 △ 0	370 5	377 7
合計	売上高 1,878 営業利益 143	1,718 98	160 45	4,000 320	3,626 258

## 3. 参考数値・前提

(単位:億円)

		2017年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増 減	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績
投 資	設備投資	99	104	△ 5	270	257
	M & A 他	42	6	36	42	12
	計	141	110	31	312	269
減価償却費		124	121	3	250	244
研究開発費		68	65	2	150	130
有利子負債残高		1,210	1,257	△ 47	1,120	1,137

  

	2017年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績
為替レート [円/\$]	111.4	107.3	110.7	108.8
国産ナフサ [円/kl]	37,800	31,550	40,400	34,600

## 4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	2017年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増 減	販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	857	722	135	117	18
インフラ・ソーシャルソリューション	260	246	14	△ 2	16
電子・先端プロダクツ	264	229	35	△ 2	37
生活・環境プロダクツ	204	207	△ 2	3	△ 5
ライフイノベーション	120	127	△ 7	△ 3	△ 4
そ の 他	173	188	△ 15	-	△ 15
合 計	1,878	1,718	160	113	47

## 5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	2017年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	72	34	39	117	12	△ 90
インフラ・ソーシャルソリューション	7	2	6	△ 2	4	4
電子・先端プロダクツ	47	33	14	△ 2	21	△ 5
生活・環境プロダクツ	8	9	△ 2	3	△ 3	△ 2
ライフイノベーション	6	18	△ 12	△ 3	△ 4	△ 5
その他、消去差	3	3	△ 0	-	0	△ 0
合 計	143	98	45	113	29	△ 98